

令和5年度
学校だより No.4

北山っ子

茅野市立北山小学校
令和5年7月14日(金)
校長 宮坂 哲生



1学期も残すところ6日間となりました。まだまだ暑い日が続きますが、体調管理に気をつけながら、最後のしめくりをしっかりとしていきたいと思えます。来週からは、プール参観週間が始まります。これまで子ども達は、水に浮いたり前に進んだりする心地よさを味わったり、めあてをきめて自分の力を伸ばしたりしてきました。ぜひ、お子さんなりの成長やがんばりを、伝えて頂ければと思います。

心動かす音楽に包まれました(音楽会)



6月23日(金)に、音楽会を開催しました。ドキドキする気持ちはあったと思いますが、ステージに立つ子ども達の姿は堂々として見えました。それぞれの学年の子ども達が、歌詞にこめた思いを聞く人に伝えようと声を響かせました。心を一つにした楽器の音色に、聴く人の身体が自然にリズムをとっていました。音楽の良さを感じさせてくれる、歌と演奏でした。これまでのがんばりが1つになって、素敵なステージを創り上げていました。

おうちの皆様、地域の皆様には、そんな子ども達の姿を温かく受け止めていただきました。それが、ステージに立つ子ども達の背中を後押ししてくれました。音楽会后、たくさんの感想も寄せていただき、本当にありがとうございました。

♪♪後日談♪♪



音楽会后しばらくして、1年生の教室から、6年生が歌った「コスモス」の歌声が聞こえるようになりました。1年生が、自分なりに声を響かせようとします。下の学年にあこがれを抱かせてくれる高学年の姿を頼もしく思いました。

そんな1年生が、今度は年長さんの前で音楽会で発表した曲を披露します。年長さんは、キラキラとした目で見つめます。「ピアノみたいな(鍵盤ハーモニカ)が、すごかった」と伝えてくれます。取り組みの姿やがんばりが引き継がれ、北山小のよさとなっていきます。

コミュニティ・スクールって何?

長野県の多くの小中学校で、コミュニティ・スクールを導入しています。地域と学校が協力し、みんなで子ども達を育むための仕組みです。コミュニティ・スクールには、長野県独自の信州型と国が進める文科省型があります。今年度茅野市では、各校で信州型から文科省型に移行しました。6月に「学校運

営協議会」を立ち上げ、日頃学校を支えて頂いている方たちに委員をお願いしました。委員の皆さんには、学校の方針を承認して頂いたり、学校運営にご意見を頂いたり、学校からも、協力の依頼をさせて頂いたりしています。文科省型に変わったことで、地域とのつながりをより深めていきたいと思ひます。そして、地域の力を活かさせて頂き、子ども達の学びや体験を充実させたいと思ひます。



通知表の観点について



文科省で作成する学習指導要領には、学校教育の目標が示されています。大事にされているのは、変化の激しい社会に対応できる、自ら考えて課題に立ち向える人間の育成です。その中で、学校教育で身につけるべき力は、以下の3つの観点で表されています。学期末にお渡しする通知表も、昨年度よりこの観点に沿って評価を行っています。

知識・技能

各教科で学ぶべき内容を理解し、応用して使えるようになっているかの評価です。

思考力・判断力・表現力等

自ら見つけた問題を論理的に考えて解決する力、仲間と協力して問題に取り組む力、知識や技能を問題解決に向けて有効に使う力の評価です。

学びに向かう力・人間性等

学習に対する主体的な態度の評価です。具体的には、粘り強く学習に取り組む態度、より価値のある学習となるよう自らの学習を調整する態度の評価です。

※単に発言が多いノートの記述が多いではなく、総合的にその子の主体性を捉えます。

校外に出かけて学びました



7月6日に4年生が長野見学に、7月11日に3年生が諏訪めぐりに出かけました。この日に向けて、子ども達は、学習を積み重ねてきました。そして当日は、様々な場所を訪れ、多くの人に出会い、お話をよく聴いて、たくさんの事を心で感じてきてくれました。各見学場所の魅力や歴史の重み、働く人の工夫や努力などを捉えることができたようです。友だちと楽しい思い出を作ることでもできました。また、学校の外に出かけたからこそ分かる、北山の良さも感じたのではないかと思います。

お願い

○もうすぐ夏休みです。楽しく意義のある休みになればと思ひます。長期にわたって、自主性に任された生活が続くようになります。生活のリズムを守ると共に、自分の立てた計画に沿った生活を送ることも大切になります。また、日頃できない貴重な体験のできる機会でもあります。ご家庭でも、夏休みの過ごし方について話し合ってみてください。